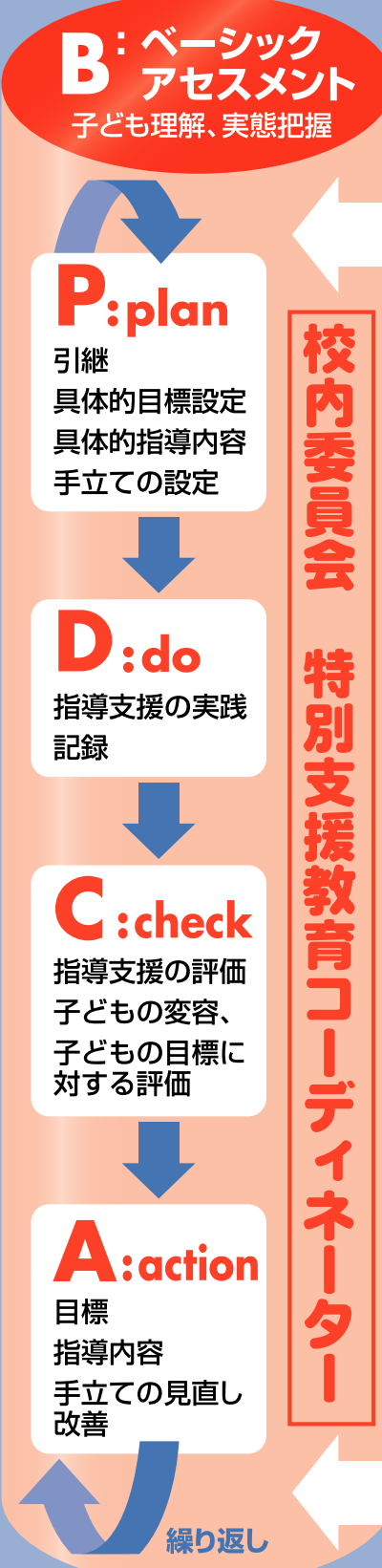


連携

それぞれが、それぞれの立場でできる支援をします。
対等な役割分担が大切です。

B-PDCA



支援のネットワーク

<p>市町、市町教育委員会</p> <p>巡回相談 巡回相談員が、学校の求めに応じて、発達障害等の子どもの支援について、指導助言を行う。</p> <p>通級指導教室 通級の場での指導を行う。通常の学級における支援への助言も行う。</p> <p>療育教室 ことばの教室等</p> <p>教育研究所 教育センター 発達支援センター 発達支援室等</p> <p>市町福祉担当課 ●乳幼児発達相談 家庭児童相談室等</p> <p>民生委員 児童委員等</p>	<p>特別支援学校</p> <p>幼・小・中・高への支援</p> <p>個別の指導計画、 個別の教育支援計 画作成の助言</p> <p>発達検査・心理検査等の実施</p> <p>教育相談の実施</p> <p>研修会の実施</p> <p>研修会への協力 県立特別支援学校は、通学区域で支援します。 (全県区) ●盲学校 ●聾話学校 ●鳥居本養護学校 ●守山養護学校 ●長浜高等養護学校 ●甲南高等養護学校 (通学区) ●北大津養護学校 ●長浜養護学校 ●草津養護学校 ●野洲養護学校 ●三雲養護学校 ●新旭養護学校 ●八日市養護学校 ●甲良養護学校 ●滋賀大学附属特別支援学校</p>	<p>県教育委員会 特別支援教育室 ☎077-528-4578</p> <p>*****</p> <p>県総合教育センター ☎077-588-2311</p> <p>特別支援教育相談 諸検査の実施 指導・助言 医療機関との連携</p> <p>カリキュラムサポート 教材・教具の提案 授業支援 校内研修の講師紹介・派遣</p> <p>特別支援教育に関する研究 出前発表 Webページ検索</p>
--	--	---

障害者雇用を支援する多様な機関
公共職業安定所(ハローワーク)、滋賀障害者職業センター、(社)滋賀県雇用開発協会、(財)滋賀県障害者雇用支援センター、障害者働き・暮らし応援センター(障害者就業・生活支援センター)、テクノカレッジ草津等

医療機関(小児科、心療内科、児童精神科等)
医療機関との連携のためには、学校での様子のわかるものや個別の指導計画等を持参することが望ましいです。

特別支援教育Q&A

Q 発達障害とは、どのような障害ですか？

A 次のような障害を総称して「発達障害」と呼んでいます。発達障害のある子どもは、障害による困難をかかえています。優れた能力を発揮する場合があります。できるだけ早期から適切な支援を受けることによって状態が改善されることも期待されます。主な発達障害の一般的な特徴は次のとおりですが、個人によっても様々です。

LD(学習障害)..... 知的発達に遅れはありませんが、聞く・話す・読む・書く・計算するなどの能力のうち、特定の分野に極端に苦しい側面が見受けられます。

ADHD(注意欠陥/多動性障害)..... 注意力や衝動性、多動性などが年齢や発達に不釣り合いで、社会的な活動や学業の機能に支障をきたすものです。

高機能自閉症、アスペルガー症候群..... 相手の気持ちを察することや周りの状況に合わせたりする行動が苦手であったり、特定のものにこだわったりする傾向等が見られます。
文部科学省 平成19年「子ども一人一人の教育的ニーズにこたえます!特別支援教育」より

Q 参考資料にはどのようなものがありますか？

A 多くの書籍や論文が出ています。県総合教育センターの資料室には特別支援教育関係の書籍が多くあります。貸し出しも行っています。また、県教育委員会、文部科学省から次の参考資料を発行しています。

- めくばり てくばり こころくばり LD、ADHD、高機能自閉症支援ガイドブック(増補版) 平成17年3月 滋賀県教育委員会
- 中学校・高等学校における 発達障害の子どもたちへの支援ガイドブック 平成20年3月 滋賀県教育委員会
◆上記2つのガイドブックは県のホームページに掲載しています。
http://www.pref.shiga.jp/edu/content/06_education/tokubetsu_shien/index.html
- 小・中学校におけるLD(学習障害)、ADHD(注意欠陥/多動性障害)、高機能自閉症の児童生徒への教育支援体制の整備のためのガイドライン(試案) 平成16年1月 文部科学省

Q 発達障害に関する様々な情報を提供するWebサイトを教えてください。

A 平成20年度に次のようなセンターができました。

- 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 発達障害教育情報センター <http://icedd.nise.go.jp>
- また、独立行政法人国立特別支援教育総合研究所HPよりメールマガジンの登録もできます。最新の情報が得られます。
<http://www.nise.go.jp/magazine/index.html>

参考キーワード

「B-PDCAサイクル」B-PDCAcycle
支援の効果、妥当性をその展開に沿って評価分析していくための手法です。従来のマネジメントサイクルPDCAを活用しますが、そこに支援全体を支えるベーシックアセスメントを取り入れます。ベーシックアセスメントとは、支援の土台となる子ども理解のことや支援の出発点です。その後はマネジメントサイクルに沿って支援を実施します。
PDCAサイクル...典型的なマネジメントサイクルの1つで、計画(plan)、実行(do)、評価(check)、改善(action)のプロセスを順に実施する。このプロセスを繰り返すことによって、取組み等の維持・向上および改善活動を推進するマネジメント手法。

「行動分析」behavior analysis
推測で子どもを語るのではなく、客観的な行動観察に基づき、適切な環境設定や手がかりを与えること等の取組みを通して行動変容を目指すものです。不適切行動は、誤学習と未学習によって成立していると考え、適切な指導や必要な支援等により行動変容を目指します。

「構造化」structuralization
「構造化」とは、指導および学習を組織化、体系化することです。状況理解の苦手な子、注意集中が難しい子、自分で行動等を組織立てることの苦手な子たちが、理解が進み適切な行動が可能になり、成功体験ができるようになるために、場所や、スケジュールや時間、活動の内容や順序を子どもたちにわかりやすく示していくことです。
場所や場面の構造化では、活動と場所や場面对応させて、今やるべき活動をわかりやすくしたり、集中しやすくしたりします。予定や時間の構造化では、あらかじめ活動の時間割をわかるようにしておき見通しを持って自発的に活動できるようにし、活動の終了についても、わかるようにしておきます。活動内容や順序の構造化では、活動の要素と目標または活動の最終段階および活動の手順をわかるようにし、見通しを持って取り組めるようにしておきます。以上のようなことが構造化の取組みの例です。

要保存

この子らしさをのばす



気づき、支え、つなぐ教育

特別支援教育を充実するには
担任が、一人で悩みを抱えず、全教職員の理解のもと関係機関等との連携を図り、学校組織で支援することが大切です。

平成21年(2009年)3月
滋賀県教育委員会

my name